HOLISTIC SCHOOL
NEAL'S YARD REMEDIES

卒業生インタビュー

INNER RITE 相馬悦子さん interview



シンガポールの記憶を、香りのプロダクトへ。

6年間のシンガポール生活を経て、「シンガポールの情景や空気を映したオリジナルの香りを作りたい」という想いから、ブランドづくりに挑戦した相馬悦子さん。香りを届けるだけでなく、"ひとり時間を豊かに彩るプロダクト"を目指した歩みを伺いました。

INNER RITE



PROFILE



名前	相馬悦子さん
ブランド名	INNER RITE（インナーライト）
商品名	INNER RITE〈内なる儀式〉
活動	オンライン販売／ワークショップ／香りの発信

「いつか」を、「かたち」に。
想いを一歩ずつ商品へ。
－相馬悦子さん

Q1 受講のきっかけは?

A 6年間のシンガポール生活から日本へ帰国したタイミングで、シンガポールの情景や空気を映したオリジナルの香りを作りたいと思ったのがきっかけです。ただ香りを届けるだけでなく、メッセージカードを添えて、自分自身と静かに向き合える"ひとり時間を豊かに彩るプロダクト"を形にしたいと考えました。

Q2 受講前の不安は?

A 薬機法に則った商品説明やラベル作成の知識がなく、約5か月という限られた期間でゼロから形にできるのだろうか、という不安がありました。完成までの具体的なプロセスが見えていなかったことも大きな悩みでした。

Q3 一番大変だったことは?

A 限られた制作期間のなかで、プレスリリースやチラシ、メッセージカードなどの印刷物の準備に想像以上に時間がかかりました。さらに動画撮影も企画・制作したため、香りづくりだけでなく、デザインやプロモーションを含めた商品づくりの全工程に向き合う必要がありました。

Q4 受講してよかったことは?

A 「いつかやろう」と思っているだけでは実現しないと感じていたので、一歩を踏み出せたこと自体が大きな収穫でした。セルフプロデュースや商品づくりの実践的な知識を学ぶことができ、自分のオリジナルプロダクトを手にしたことで、新たな挑戦への扉が開きました。

Q5 卒業後の広がりは?

A すでに東京と福岡で香りのワークショップを開催することができ、今後はシンガポールに関連するイベントや発信にも積極的にアプローチしていきたいと考えています。

好きな香りを、これからの仕事に。
アロマ雑貨実売
スタートアップ講座
講座詳細はこちら >>

